

まちづくりの基本目標	まちづくりの基本方向		総合評価	注	令和2年度の実施状況	
1 交通基盤の充実と人が集うまちづくり	1	広域的な交通基盤の整備	B	★	◎米子駅南北自由通路等整備事業など 【交通基盤の充実と人が集うまちづくり】 の取組については、おおむね予定通りに進捗している。特に、令和2年8月に、JR西日本米子支社と米子駅南北自由通路に係る工事協定を締結し、工事に着手したことにより、南北自由通路及び駅南広場の整備促進の大きな一歩となった。これをさらに、米子駅北広場の活用、また、米子駅周辺のにぎわい創出等の取組と繋げていくことにより、人が集うまちづくりの推進が可能となる。 各数値目標については、国内線の利用者数と「だんだんバス」の利用者数の指標であり、新型コロナウイルス感染症の影響が非常に大きく、どちらも策定時よりマイナスの数値となった。このような状況ではあるが、米子市循環バス「だんだんバス」の利用促進について、令和2年8月に“米子市公共交通ポータルサイト”を開設するなど、利用促進の取組を進めている。 ※米子空港発着の国内線の年間利用者数：（策定時）589,505人→（R2）137,641人【R6目標値】645,000人 米子市循環バス「だんだんバス」年間利用者数：（策定時）129,933人→（R2）93,948人【R6目標値】137,924人	
	2	地域公共交通体系の確立	A	★		
	3	調和のとれた土地利用の実現	A			
	A…4 B…1	4	米子駅周辺整備の推進	A		
	5	中心市街地のにぎわい創出	A	★		
2 市民が主役・共生のまちづくり	1	市民参加及び民間事業者等との連携協力	B	★	◎鳥取大学医学部及び同附属病院、米子工業高等専門学校等との連携事業など 【市民が主役・共生のまちづくり】 の取組については、予定通りに進捗しているものが5つとなっている一方、“公民館を拠点とした地域づくりの推進”と“地域福祉活動の推進”については、取組が進捗していないという結果となった。 主な事業としては、令和3年3月に鳥取大学医学部附属病院と米子市において、地域に根差した医療の発展及び持続発展する福祉のまちづくりの実現に向けて連携・協力を図ることを目的とした包括連携協定を締結し、鳥取大学医学部及び同附属病院がめざす将来に向けての様々な取組について、まちづくりの視点から全面的に協力することとなった。 一方、公民館を拠点とした地域づくりの推進については、地域の現状把握・課題の拾出しができておらず、取組が進んでいない状況であった。こうしたことから、令和3年度以降は、地域振興課と生涯学習課が協働で、地域の各種団体の事業を取りまとめた「まちづくり点検票(案)」を作成する等により、地域運営組織の構築と地域まちづくり計画策定へと進めていくこととしている。 また、地域福祉活動の推進については、福祉圏域ごとの住民組織や福祉関係機関で構成する推進会議の設置が進捗していない状況であった。これについては、福祉関係機関の関係者との会議の開催が、新型コロナウイルス感染症の影響により困難であったことが一因となっており、令和3年度以降は、福祉関係機関の業務の状況を考慮しながら、オンライン会議や少人数での会議を行うことにより、包括的相談支援体制の整備に向けて推進会議の設置を促進していくこととしている。 各数値目標については、公民館の利用者数及び成年後見制度利用の申立件数が策定時よりもマイナスとなっている。公民館の年間利用者数については、公民館主催事業やサークル団体の利用自粛等によるものがある。今後は、感染予防対策を講じながら公民館事業の実施を進めることとしている。 また、成年後見制度利用の年間申立件数については、令和3年度以降においては、成年後見制度の利用支援の中核機関を本市内部に設置することにより、成年後見制度の周知と利用促進を図ることとしている。 ※公民館の年間利用者数：（策定時）318,302人→（R2）184,244人【R6目標値】360,000人 成年後見制度利用の年間申立件数：（策定時）49件→（R2）33件【R6目標値】78件	
	2	公民館を拠点とした地域づくりの推進	C			
	3	地域福祉活動の推進	C	★		
	4	障がい者（児）福祉の充実と共生社会の実現	A			
	5	互いの人権を尊重し合うまちづくりの推進	B	★		
	6	男女共同参画社会の形成	A	★		
	7	多文化共生社会の実現	B	★		
	8	鳥取大学医学部及び米子工業高等専門学校等との連携	A	★		
	A…5 B…3 C…2	9	国県・他自治体の連携協力	A		★
	10	Society5.0の実現に向けた技術の活用	A			

まちづくりの基本目標	まちづくりの基本方向		総合評価	注	令和2年度の実施状況	
3 教育・子育てのまちづくり	1	在宅育児支援の充実	S	★	<p>◎ ICT教育に係る環境整備事業など</p> <p>【教育・子育てのまちづくり】の取組については、“在宅育児支援の充実”が、全ての取組で予定通りの進捗となっており、かつ、数値目標も目標値を達成しているなど、ほとんどの取組が予定通りの進捗となっている。</p> <p>主な事業では、国のGIGAスクール構想に基づき、令和2年7月に、市内小中学校全校を対象に1人1台の教育用タブレット端末配備が決定（議決）され、年度内に各校への配備が完了した。その他、学校施設の大規模改修等による長寿命化や学校におけるふるさと教育の充実など、子育て・教育に対する取組が順調に進められている。</p> <p>各数値目標についても、令和6年度の目標値に近づくように推移しているものがほとんどであるが、児童文化センターの年間利用者数については、策定時よりマイナスとなっている。これについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、主催事業の中止や市有施設を一斉休館にしたことによるものである。こうしたことから、今後は、感染防止等の対策を講じながら主催事業等を実施することにより、子どもたちの学習や体験活動の機会を提供することとしている。</p> <p>※児童文化センターの年間利用者数：（策定時）174,764人→（R2）102,583人【R6目標値】190,000人</p>	
	2	待機児童の解消と子育て支援の充実	A	★		
	3	子どもの特性や発達に合わせた適切で切れ目ない支援	B	★		
	4	学校教育の充実	A	★		
	5	学校施設の整備・充実	A	★		
	S … 1 A … 5 B … 1	6	児童・青少年の健全育成	A		★
	7	ふるさと教育の推進	A	★		
4 地産外商・所得向上のまちづくり	1	地元企業の振興と地域産業の活性化	C	★	<p>◎ 皆生温泉のまちづくり事業など</p> <p>【地産外商・所得向上のまちづくり】については、取組を順調に進めているものが9つあった一方、“地元企業の振興と地域産業の活性化”の取組が進捗していなかった。</p> <p>主な事業では、皆生温泉の魅力の向上への取組として、米子市観光センターで自転車の貸出を行うレンタサイクル事業や砂浜を活用した新たな誘客コンテンツである『カイケウミコタ』、『みらいの灯り』をコンセプトにした実証事業などに取り組んだ。</p> <p>一方、“地元企業の振興と地域産業の活性化”について、海外展開を含む地産外商の促進や関係機関と連携した事業継承に係る支援といった取組が進捗していなかった。これについては、新型コロナウイルス感染症による影響を受けた市内事業者への事業継続支援を最優先事項として取組を行ったことによるものである。このことから、令和3年度以降は、市内事業者の経営環境を注視しつつ、オンライン等による関係機関との情報共有やアフターコロナを見据えた海外展開に向けての積極的な取組を進める体制準備についても検討していく。</p> <p>各数値目標については、“皆生温泉宿泊客数”と“市内の年間外国人宿泊客数”、“年間漁業生産・販売金額”が策定時より数値がマイナスとなっている。宿泊客数については、新型コロナウイルス感染症が大きく影響をしていることは明白であり、市民を対象とした宿泊キャンペーン等により、減少幅を食い止める取組を行った。</p> <p>一方で、メールマガジン登録者数については、目標値を上回る結果となっており、今後も効果的な発信手法を検討しながら、シティプロモーションの推進を行っていくこととしている。</p> <p>※皆生温泉宿泊客数：（策定時）392,548人→（R2）264,284人【R6目標値】450,000人 市内の年間外国人宿泊客数：（策定時）50,094人→（R2）5,720人【R6目標値】105,000人 年間漁業生産・販売金額：（策定時）311,000千円→（R2）251,799千円【R6目標値】320,000千円</p>	
	2	成長産業の育成と新産業の創出	B	★		
	3	企業誘致の推進	A	★		
	4	雇用の安定と確保	A	★		
	5	皆生温泉のまちづくり	A	★		
	6	地域資源を活用した観光施策の推進	A	★		
	7	広域連携による観光振興	A	★		
	8	インバウンド対策の推進	A	★		
	9	次世代につなぐ農業の推進	B	★		
	10	農業基盤整備の推進	A	★		
	11	地域特性を活かした漁業の振興	A	★		
	A … 9 B … 3 C … 1	12	シティプロモーションの推進と関係人口の拡大	A		★
	13	移住定住の促進	B	★		

まちづくりの基本目標		まちづくりの基本方向		総合評価	注	令和2年度の実施状況		
5 歴史と文化 に根差したま ちづくり	1	米子城跡の保存・活用・整備と 魅力発信	A	★	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">主な事業</div> ◎米子城跡保存整備事業 【歴史と文化に根差したまちづくり】については、イベントや啓発に係る取組以外は、おおむね実施状況は順調であった。 主な事業では、米子城跡のライトアップ等を行う『米子城跡・魅せる！プロジェクト事業』や令和3年3月の米子城跡三の丸駐車場の供用開始等の取組が進められた。 各数値目標については、各文化施設の年間利用者数と淀江地域の観光施設の入込客数が、新型コロナウイルス感染症の影響により、策定時よりマイナスの数値となった。今後は、感染防止等の対策を講じながら、利用者及び入込客を増やすような取組を進めていくこととしている。 ※米子市公会堂・米子市文化ホール・米子市淀江文化センター・米子市美術館の年間利用者数の合計： （策定時）403,172人→（R2）157,802人【R6目標値】452,000人 伯耆古代の丘エリアの観光施設、歴史文化施設の年間入込客数：（策定時）18.0万人→（R2）14.3万人【R6目標値】20.0万人			
	2	芸術文化活動の推進	B	★				
	A … 1 B … 2	3	淀江地域における歴史・地域資源の活用	B				★
6 スポーツ健康 まちづくり	1	すべての人がスポーツに親しむこと のできる環境づくり	B	★	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">主な事業</div> ◎新体育館整備事業、フレイル対策推進事業など 【スポーツ健康まちづくり】については、全日本トライアスロン皆生大会や皆生・大山SEA TO SUMMIT等のスポーツツーリズムに関するイベントがほぼ中止になったこと、スポーツ合宿の誘致が進まなかったことにより、“スポーツを通じた地域の活性化”の取組が進捗していないという結果となった。それ以外の取組でも、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものが多く、総合評価において、順調に取組を進められているものはなかった。 主な事業では、新体育館整備事業について、令和3年1月に新体育館整備基本計画（案）の取りまとめを行い、令和3年度の基本計画策定に向けて、取組を進めた。また、フレイル対策推進事業については、地域担当保健師等による市内全域でのフレイルチェック及びフレイル予防の啓発を実施した。 各数値目標については、スポーツ施設等の利用者数、スポーツツーリズムの3大会及び市民体育祭の参加者数、メタボリック症候群（該当者・予備軍）の割合、介護保険の認定者数、介護予防等に取り組む地域活動拠点数について、策定時より数値がマイナスとなった。全ての数値について、新型コロナウイルス感染症が影響していると考えられるため、コロナ禍においても可能な取組を進め、高齢者の健康維持等に努めていく必要がある。 ※スポーツ施設及び学校体育施設の年間延べ利用者数：（策定時）1,047,861人→（R2）858,940人【R6目標値】1,200,000人 市民体育祭の参加者数：（策定時）1,477人→（R2）162人【R6目標値】1,700人 メタボリック症候群の該当者割合：（策定時）18.8%→（R2）20.2%【R6目標値】16.2% 介護保険の認定を受けている人の割合（前期高齢者）：（策定時）4.8%→（R2）5.0%【R6目標値】4.3% など			
	2	スポーツを通じた地域の活性化	C	★				
	B … 3 C … 1	3	生活習慣病予防の推進	B				★
	4	介護予防、フレイル対策の推進	B	★				

まちづくりの基本目標	まちづくりの基本方向	総合評価	注	令和2年度の実施状況
7 災害に強いまちづくり	1 公共インフラ施設の整備	A		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ◎市道安倍三柳線改良事業、第2次米子市環境基本計画策定など </div> <p>【災害に強いまちづくり】の取組については、全て総合評価がAとなった。 主な事業では、市道安倍三柳線改良事業について、令和3年2月に市道安倍三柳線の1工区が完成し、供用開始となった。また、同月、第2次米子市環境基本計画を策定し、5つの基本目標を達成するとともに、長期的な目標として「2050年までに温室効果ガス（二酸化炭素）実質排出ゼロ」の達成をめざすこととした。 各数値目標については、自主防災組織の育成補助金交付実績割合、防災講座等の年間職員派遣件数、中海・宍道湖一斉清掃の参加人数が策定時よりマイナスの数値となった。その全ての数値が、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものであり、令和3年度以降は、感染防止等の対策を講じながら、可能な取組を進めていくこととしている。</p> <p>※自主防災組織の育成補助金交付実績割合：（策定時）44%→（R2）18%【R6目標値】60% 防災講座等への年間職員派遣件数：（策定時）81件→（R2）37件【R6目標値】100件 住民説明会等の年間開催回数：（策定時）25回→（R2）16回【R6目標値】25回 中海・宍道湖一斉清掃（米子会場）の参加人数：（R1）1,163人→（R2）409人【R6目標値】1,300人</p>
	2 総合的な住宅政策の推進	A		
	3 良質な水源開発と災害に強い施設・管路の整備	A		
	4 総合的な生活排水対策の推進	A	★	
	5 危機管理体制の充実強化	A	★	
	6 地域防災力の充実強化	A	★	
A … 8	7 原子力災害対策の推進	A	★	
	8 環境保全活動の推進	A	★	

◎総合評価の区分ごとの総数

S … 1 (2%)/内、新型コロナウイルス感染症の影響があったもの **1**

A … 32 (64%)/内、新型コロナウイルス感染症の影響があったもの **23**

B … 13 (26%)/内、新型コロナウイルス感染症の影響があったもの **13**

C … 4 (8%)/内、新型コロナウイルス感染症の影響があったもの **3**

(全 50 項目)

【総合評価の考え方】

- ・実施状況の評価は、各担当課の自己評価。
- ・総合評価は、各まちづくりの基本方向の主な取組項目の総数に対する実施状況評価の数に応じて、以下のとおり評価したもの。

※ $X = \frac{\text{実施状況評価のAの数} \times 5 \text{ポイント(P)} + \text{Bの数} \times 3 \text{P} + \text{Cの数} \times 0 \text{P}}{\text{主な取組項目の総数} \times 5 \text{P}}$

〈総合評価S〉 Xの値が 100% であり、かつ数値目標を達成しているもの

〈総合評価A〉 Xの値が 80% 以上

〈総合評価B〉 Xの値が 50% 以上、80% 未満

〈総合評価C〉 Xの値が 50% 未満